

幼 兒 教 育

第 二 十 一 卷 第 十 一 號

大 正 十 年 十 一 月 十 五 日 發 行

目 次

異常兒の幼稚園	樋口長市
細民階級の幼児保護	野田忠廣
三人の子の母として	塚原はま子
此頃思ふこども	松岡久子
子供と音楽	小松廣子
自然的要素と兒童教育	留岡幸助
東京兒童保護協會	三浦謹三郎
大正婦人會託兒所	佐伯富士子
福田會内の新設乳兒保育所	神田董子
會 報	

兒童の睡眠時間……………淡路圓次郎

日 本 幼 稚 園 協 會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたく存じます。例之ば初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに互ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十年十一月十二日印刷
大正十年十一月十五日發行

東京市外千駄ヶ谷原宿三百四番地
編輯兼發行者 黒 瀬 豐

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資 會社 杏 林 舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

一番新しい
 一番面白い
 唱歌の本が出ました

前東京音楽學校教授
 現文部省圖書監修官
 文學士 青木存義先生著

かはいい唱歌

一冊目

定價金 四拾錢
 送料金 四錢

名前の通り本當にかはいい唱歌であります。お家におゐでのお子様方も結構お歌ひ遊ばす事が出来ますし、幼稚園や小學校にお通ひのお子様方ならば尙更美事にお歌ひ遊ばすことの出来る唱歌の本であります。其第一冊目には、

- 一、先生
- 二、さくら
- 三、こねこ
- 四、ゴム風船
- 五、リ
- 六、お池のひこび
- 七、縄飛
- 八、なんだらう
- 九、あさがほ
- 一〇、波のいたづら

といふ十種の歌が御座いますが、どれもみなその道にかけて評判の高い青木先生のお作りになつた、かはいいおもしろいものばかりであります。そして曲は日本で一流といはれる五人の音楽の先生方のお拵へになつたもので、すべて綺麗な伴奏がついてゐます。さあ、どうぞ美しいピアノの音に合せて優しいお聲でお歌ひ遊ばして御覽下さいまし。

振替
 東京
 〇八五

共益商社書店

合資
 会社

東京
 市本
 芝町

清新味溢る唱歌書類

廣島高等師範學校訓導兼助教 山本壽先生著

尋常小學唱歌

尋常一年用
定價貳拾五錢
郵稅貳錢
二年以下續刊

一年用 一 お日様 三 螢がり 五 瘤取り 七 木口小平 九 雪達磨
目次 二 猿蟹合戦 四 舌切雀 六 菊の花 八 お正月 十 飛行機

山橋田 本 上 留 新 壽 喜 吉 先 生 共 著

唱歌劇

第一集 舌切雀

第二集 かうもり 虎 こ 狐

第三集 花咲爺

第四集 七福が神

第五集 天の岩戸

定價各五拾錢・郵稅各貳錢

第四集・第五集近刊

目黒書店

東京市橋區南馬場二丁目九番
東京市橋區南馬場二丁目九番

發行所

幼兒教育

第二十一卷
第二十一號

大正十年十一月十五日發行

異常兒の幼稚園

東京高師教授

樋口 長市

私は、去る五月、二年半餘の歐米諸國の見學旅行から歸りましたが、アメリカには一年四ヶ月、ロンドンに二ヶ月、パリに五ヶ月、後の日數はイタリヤ・スウエス、ドイツ等の旅行に費しましたので、最も長く滞在致しました米國の兒童教育に就いて、此處に一寸申上げたいと思ひます。米國では、婦人たちが主として兒童の教育に従事して居りまして、實に完備した社會事業が多種ありますが、中でも米國に於てさへ極く新しい事業と見られますのは、各種異常兒の幼稚園であります。未だ日本には是等の幼稚園が設立されてないと思ひますから、大體の有り様を述べて見ませう。

異常兒といふのは、生れつき、或は生れてから後、

即ち先天的に後天的に、精神や身體の上に、普通の兒童と異つてゐるものを申すのであります。例へば、低能兒、不良兒、盲兒、聾兒、言語障礙兒(吃)、不具兒、腺病質兒童、結核質兒童、榮養不良兒、神經質兒童、癲癇兒童等であります。

従前の考へから云へば、是等の兒童は學齡が遅い方がよいとされ、普通の兒童が滿六歳を以て小學校に通ふのに、異常兒は十歳、十二歳過ぎて始めて通學させるやうでありました。之は、異常兒は普通の兒童よりも、身の仕末が早く出來ないから、教へ導く先生も倍の手續がかかるし、兒童自身も人の中に出て萬事つらい思ひをしなければならぬから、と云ふ事にあつたのでした。

所が最近の意見に依りますと、異常児は却て普通児童よりも早く教育を施した方が、結果がよろしいといふ事になりました。此の目的の爲めに、歐米諸國には異常児の幼稚園が起つて來たのであります。

先づ盲兒幼稚園から申し上げます、アメリカ合衆國には總てで四つの盲兒幼稚園があります。その中で私が參觀致しましたのは、ボストンの盲兒幼稚園でありました。

ボストンの盲兒幼稚園には二十名の盲兒が居りまして、最も年上の児童は五歳、最も年下のは未だ乳呑兒で寢牀にねて居りました。是等につきそふ保母は四名居ります。この幼稚園は、ボストン市の存在するマサチューセツ州内に住する盲兒を收容するために設立されてあるのですが、唯今は米國內に唯四つしか此種の幼稚園がない爲め、マサチューセツ州ばかりでなく、他の附近の州の児童も亦此處に來てゐます。

この幼稚園へ盲兒を家庭から送り迎へるのは困難な事でもありますし、また盲兒に施す教育は寢起も共にさせて保母たちにすつかり託した方が効果もあがるので、この幼稚園の盲兒は總て家庭的な寄宿

に入る事になつてゐます。園児二十名の中十分の四は白内障でありました。園児は月三弗即ち六圓の費用を支拂ふ事になつてゐますが、貧困の爲めや其他特別の事情ある時は、全然費用は取りません。たつた三弗位のお金では實際何にもなりませんで、どうしてもいくら安くも一人の児童に十弗は入りますので、是等の費用の不足な所は、寄附金によつて補つて居ります。

園内を見ますと、室内は普通の家庭と全く同じに、食卓もあり、椅子もあると云ふ風で、私共から考へると盲兒がそれらにつまづいて不便だらうと思ふのでありますが、之はわざとかうして普通の家庭と同じにして、盲兒を最初から馴らしてしまふのださうです。盲兒たちは、ちやうど目が見えるかのやうに、活潑にその中をどびまわつて居りました。

溜所には楽しさうに話し合つてひなたぼっこをしてゐる可愛らしい盲兒も居りました。冬季にはこの溜所をしめきつて溫室のやうにして遊ぶ様に出來てゐて、玩具をいぢつてゐるのもあれば、木馬に乗つて喜んでゐるのもあり、又鈴の音でもつて鈴の配列をかへる遊戲などしてゐるのもありました。

庭には、木馬、ブランコ、スベリダイ等、皆自由に用ひて盲兒が嬉々として遊んで居るのを見まして、ブランコなんかやつて怪我をしないかと、却て見てゐる者がはら／＼しますが、保姆は平氣でちつとも干渉してゐませんでした。

この盲兒幼稚園の園長のお話に依ると、盲兒だから可愛いさうだ／＼と云つて、大人が手助けばかりしてやると、却て兒童の發達をさまたげる、危険のない範圍で、自由に何でもやらした方が、早く一人前になる、と云ふ事でした。

尙、アメリカでは盲人の出来るのを豫防する爲の會が組織されてゐて、盲兒をなくなすやうにするにはどうしたらよいかを、色々と研究した出版物を出し、全國にこれを配布してゐるのであります。世界で盲人の一番多いのはアメリカと日本でありまして、盲人になる原因にも色々ありませうが、親の不注意の爲に盲兒にしてしまふ等と云ふのは、最も可愛さうな事で、一方から云へば最も豫防し易い事です。母親への注意等はくわしく書いて、絶えず宣傳されてゐます。

私がこのボストンの盲兒幼稚園に訪問しました時

に、園長は盲人豫防の宣傳が效を奏したと見えて、今年はこのマサチューセツ州から盲兒が一人も此處に來なかつた、と云つて大變喜んで居られました。これを見ても著々として良結果を得てゐるらしいのでありますから世界中でアメリカと共に盲人國と云はれてゐる我國に於ても、盲人豫防の宣傳を盛にやりたいと思つてゐます。

さて盲兒幼稚園で滿六歳まで教育をうけますと、普通の兒童の通學する小學校に入學させ、特別學級として三年間は點學を以て讀方、書方、算術を教授し、そのなかで話し方等といふ學科になると、普通の子供の中に交せて學ばせ、程度もすつかり同じにしてゐます。尋常四年生になると、全然普通兒童の間に交せて何等異つた教育をしません。小學校を卒業したものは、更に中學、大學と普通兒童と共に進みますし、高等の學校へ行く程の能力のない盲兒は、早く職業を授けて獨立させ、立派な市民として一生を幸福に送らせます。

このやうな有様を見まして、目などではなくてもかまはないと、思つたほど、驚嘆しました。

次には聾兒幼稚園であります、之は先にお話し

た盲兒幼稚園の兒童が寄宿してゐるのと異り、此の方の園兒は皆通學生であります。聾で話す事の出来ない子供は、讀唇法を唱へて、人の唇を見てその動き方で云ふ事を了解するやうに教育するのでありますから、寄宿生にすると、その寄宿にゐる保姆とか友達とかの唇ばかりを讀む事に馴れ、他の人の唇はわからなくなる恐れがありますので、通學生にして置きます。さうすれば幼稚園の往復の途上の人々、電車内の人々、父兄姉妹の唇など、多くの機會に接し得るからであります。

私が參觀しましたのは、フィアデルフィアの公園内にある聾兒幼稚園でありまして、建物は二箇より成つて居て、體操場もあり、附屬病院もあり、十間に二十間の大きさで冬は湯、夏は水を入れる水泳場もあります。こゝに寄宿舎が二軒ありまして、三十人の兒童がをりますが、之は前にも云つた通り、通學生を希望してゐるのでありますが家が非常に遠方であつたり、又世話する人がなかつたりする子供等の爲めに、設立されてゐるのです。

十人程の聾兒を一級として、能力の同じなものを教室内に集めて居りますが、年上の兒は九歳、年下

のは四歳でありました。園長のお話では、四歳でも少し遅すぎる、聾兒の教育は二歳位からがよい、との事でした。

教育の方法は、教師が言語を發して見せ、兒童が唇の動き方を見て知るといふので、この教育の仕方の教科書も用ひてゐて、單語から複雑な思想に至る迄、次第に了解するやうに、兒童を教へるのであります。又兒童が自分の考へを表はす時に、發音の方を教へ、唇をかう云ふ格好にすればこの音が出る、又先生の喉をさすらせて、この音の時は喉はかう云ふ振動をする、といふやうに丁寧に教へこむのであります。五歳位の聾兒でも、日常の一寸した用事は、自分も言葉話し人の言葉も了解してゐます。

英語は御存じの通りアクセントが大切でありますので、聾にアクセントをどうして教へるか云ふに、それには音楽でやつて行きます。音楽の時間には、兒童は頭をピアノにぴつたりとつけて、先生が弾くのを聞いてゐます。さうしてピアノの振動を、肉體に感じて、それによつて音楽の高低を知り、其の高低を身振りであらはします、それから先生は、四五間はなれた所で、笛、太鼓、鈴などで音楽をやつて見せ

て、今度は兒童にひとり／＼やらして見ますと、先生と同じやうに高低をつけてします。かうなれば、アクセントを教へることが容易に出来るのです。

聾兒も盲兒と同じく、幼稚園を経ますと小學校へ入學させ、始め三年間は特別學級とし、あとは普通兒童の中に混じて教育してゆき、中學、大學と進ませます。

セント・ルイ（シカゴの南方）の小學生の聾兒でありましたが。私が英語で云ふ事をすらすらと了解しました。私は語學が不得手でありまして日本人風の英語でありましたので、時々子供が變な顔をします。そこで、ノートを出して綴つて見せると、解つたといつて大喜びでした。かうして數分話してゐる中に、人なつこいアメリカの兒童の事ですから、直ぐ仲よしになつてしまつて、終には、「あなたは奥さんや子供があるか」、「なぜ奥さんをつれて來ないのか」とか、「お年はいくつですか」等と大分きわどい質問をされて閉口してゐると、校長が出て來られて、「そんな事をお尋ねしてはいけない、失禮だから、」と叱られて、私に握手してにこ／＼とひつこんでゆきました。この兒の無邪氣さを今でも思ひ出して笑ひたへ

なります。

又ワシントンの専門學校に行きますと、其處にも聾の生徒が普通の學生の間にまじつて熱心に聴講してゐました。文科でしたので、ラテン語、フランス語等を自由に了解し話してゐるのを見て、生れながら耳が聞え話がよく出来るのに、私どもはなかく外國語が發達しにくいのを見て、はづかしく感じました、又同じ學校の理科の方にも聾生徒が居て實驗をしてゐましたが、案内してくれた理科の學長は、聾の卒業生でも就職口には一向ひけを取らない、實驗研究には耳が聞えぬ方が氣が散らなくつてよいと云ふので、どん／＼社會へ出て歡迎される、と云つて居りました。

其他アメリカには、低能兒や不良青少年少女の爲めに、幼稚園のやうな設備が澤山してあります。一二歳の幼兒は低能兒だかどうかを見て、三歳にもなれば充分低能兒だと云ふ事がわかりますから、その時には、適當な場所につれて行つて教育する方が、その子供の異常な度合をさぐめ、ひどくならぬやうにするばかりでなく、社會の平和の爲にもその方がいいのであります。

オハイオ州のコロンバス市に白痴院があります、其處には未だ白痴とまらない五六人の幼児が來てゐて、白痴か普通兒か、鑑定して貰つてゐました。

低能者の中でも、道德的低能といふのがあつて、性の道德觀が缺けてゐまして、本能のまゝに行動するのがあります。殊に少女がこの種の低能になると、おそろしい事には十三歳で子供を産み、十五歳で二人子の母となり、しかも父親が不明であるのですから、實に困るのであります、このコロンバスの白痴院にもこの種の少女は、子供と共にひきこつて世話して居ります。

低能者の母から生れた子供が必ずしも低能者だといふ事がありませんから、かうして白痴院で育てゝみて普通兒であれば、早速他の孤兒院へ送り出すやうにしてあります。低能の少女は、十三歳以下の者、十三歳から十六歳迄、十六歳以上と分けて生活させて置きまして、よい方になつて再び罪をかすまいと思つたものは、兩親のもとにかへし、もし兩親がなければ獨立してゆかれるやうな手段を取つてやります。

アメリカの田舎には、白痴村、不良少女村と

も云ふべきものがありまして、犯罪性をおびた異常兒は都會から離して生活させてあります。さうして女子であればメリアス編み、洋服仕立て、洗濯等の業をあたへ、正しい労働と、音樂、會合等の清らかな娛樂によつて、忙しく楽しく生を送らせてゐます。結婚は優生學の見地から禁じるやうにしてあります。

不良兒の幼稚園と云ふべきものは、ロスアンゼニスの感化院であります。十二歳迄の兒童を收容してゐますが、中には五歳にして三回も家を飛び出したといふのが居りました。設備と云ひ、教育と云ひ、實に完備したものでした。

さて從來はこのやうな異常兒教育上の事業は、慈善事業、人道問題の方からなされてゐましたが、現今では社會事業、社會問題の方からなされてゐます。

細民階級の幼兒保護

内務省衛生局 野田 忠廣

子供の健康を保護する事は必要であるのは、今更事新しく言ふ迄もない事であるが、未來の強健な生産的な國民をつくる上に於て、最も肝要な事である。殊に、子供時代には、外界の種々なる刺激に抵抗する力が弱い、此の時代の健康保護が最も大切である。

細言して見れば、子供が此の世に誕生しない前、母の暖い胎内にゐる時は、胎兒の發育に必要な要素は、母の血液から直接に受けてゐる。分娩によつて世の中に出づるや否や、寒冷な空氣は先づ第一に子供の柔い皮膚を刺戟する。又肺臓の呼吸も分娩の瞬間に始り、自ら空氣の呼吸作用も營まれる事になり、身體の榮養も母乳、已むを得ぬ事情あるものは母乳の代用に依つて養育されて行く。この分娩後年月の經過しない間が、最も子供にとつて大切な時期であり、最も危険な時期である。従つて大なる注意も此の時に最も要するわけである。

今此處に内務省に於て調査したる兒童の死亡率に

就いての統計を掲げて見よう。千に付き、零歳から滿一歳迄は二七六・一三七で、一歳から滿五歳に至るまでは一三八・二六〇であるから、前者の方が後者より遙かに多いわけである。更に細說すれば、出生から十日迄は七八・四で、十日から一ヶ月迄は三九・二、一ヶ月から滿一歳までは一四・〇五であるから、出生から年月の經ない程、死亡率は多い事になつてゐる。

之は要するに、嬰兒が如何に外界の刺激に對して、抵抗力が少いかを示してゐる。公生兒と私生兒とに於ける死亡率を見れば、勿論私生兒の方が死亡率が多いのである。之は、私生兒を生む母親の境遇が、幸福なものがなくして、嬰兒の保護等にはとても充分な力を盡す事が出来ない境遇に置かれてゐる故、自然嬰兒に對する不注意から、私生兒に於ては死亡率が増してゐるのである。最近の統計によれば、公生兒は出産百に對して一割七分の死亡率を有してゐる。

るのに、私生児は二割五分の死亡率を有してゐるのを見て、児童保護は私生児に於てことに必要である事がわかる。

更に富豪の子供と貧民の子供とを比較して見れば、公生児と私生児の場合の如く、貧者の幼児に於て遙かに死亡率が多いのである。之は貧者の幼児は、經濟力が少い爲に充分な保護を與へる事が出来なかつたり、或ひは育児に對して充分なる智識を有してゐない爲め保護する方法をわきまへなかつたりして、とにかく富者の家庭の幼児に比られば一般に健康状態が衰へてゐる。

目下の社會状態に於て最も必要とする所は、この貧民階級の幼児保護の方法である。幸ひにも。社會事業、社會問題が、此の大戦以來盛に唱へられて來て、種々の設備がなされつゝある事は喜ばしい事であるが、外國の児童保護の諸事業に比較すれば、未だ進歩してゐないと思ふ。

先ず貧民階級の児童保護の設備としては、分娩の際安心して母親が出産にのぞむやうな産院を設立する事が第一である、之は嬰兒にも母親にも衛生的設備として缺くべからざるものと思ふ。不衛生的な分娩

娩が母體の健康を害し、嬰兒の發育に影響する事は大きなものである。産院の次には、乳兒を育てる乳兒院、勞働者階級の母親は日毎に勞働に出掛けねばならぬからその爲には託兒所も必要である。

近頃は、この方面の活動は、慈善團體、共同團體等が主となしてゐるやうであるのは、國家の爲め喜ばしい事と思つてゐる。同時に、諸般の設備ばかりでなく、根本的に幼兒保護問題を普及しようと思ふならば、設備と同時に衛生思想を宣傳しなければならぬ。これには時々細民階級の住してゐる町に行つて、講演會を開くとか、或は小冊子のやうなものを配布するとかして、極めて通俗的に、然も有益な宣傳方法をしたなら、相當な效果あることと思はれる。

今や、幼兒問題は、多くの社會問題の中最も必要なものとなつて來た。子供は國家をつくる基礎であるから、健康にして、善良な子供の多くゐる國ほど、將來は其の國家が繁榮し富強になるのである。然かし經濟的組織の爲め、勞働者階級、細民階級が社會に於て可成り多數を占むるやうになつたのであるから、其の方面の幼兒保護問題は、最も迫りたる重大問題である。

三人の子の母として

私が子供の教育に就いてのお話等は、ほんとにお恥づかしい次第でございます。私どもには、十一歳、十歳、八歳の三人の子供がございますが、未だ小さくて未成品でございますし、私自身も一向皆様のやうに御立派な考もございませんから、かれこれ申上げるにも氣がとがめます。

私は只今はなくなりましたが以前あつた明治女學校を卒業後、上野の音樂學校を出したので、かうして家庭に這入つてしまひますれば、音樂等に熱心になりましたのも昔のやうに思はれましてございますが、こんな事から子供達が音樂にどんな興味を持つてゐるかい、よく氣がついて目につきますのでございます。

主人が廣島の高等師範に教授をして居りました頃、廣島にミッシェン・スクールがございました、その校長さんがミス・ゲーンズと云ふ方で、私の實家の叔父(註、新戸部博士)の家内が西洋人なもので、ミス・

文部省督學官夫人 塚原はま子

ゲーンズと御親しく交際いたして居りました關係から、ミッシェン・スクールに音樂の教師がちようど缺員で非常に困つてゐるから是非私に來てくれとおつしやるのでした。私も家庭があつて多忙ですので再三おことわりしましたが、是非と云はれて、一週に一日ならばと御受けして居つた事がございました。其の中に長男が誕生致しまして、尙更多忙になつてしまひましたが、急に御ことわりも出來なくて四年程ながびいて居りました。

其頃なるべく簡易生活にと存じまして、女中も一人しか使つて居りませんので、私が學校に出てゐます間に、女中は赤んぼのお守と臺所と二つで、それはく困つてゐるのです。私も何とかもう少し樂にしてやりたい、それには赤坊をあまり女中にかからめないやうにすればいい、と思つてゐる中、ふとオルゴール附きの時計を買ひ求めました。すると赤坊は大層オルゴールの音がすきらしく、ちつと耳

を傾けてゐるのを見ましたので、私も一案をたて、赤坊を寢せて、その枕許にいつもオールゴールの時計を仕かけてやりましたら、「コロン、コロン」云ふやさしい静かな音が、子守唄のやうな感じを赤坊に與へますのでせうか。ちつと聞いてゐる中に、すやすやと眼つてしまひます。女中はオールゴールさへしかけて置けば、坊ちゃんはおとなしくしていraftしやるから、私の手はぶけて結構ですと、喜んで居りました。ひとつ、おためしなすつて御らんないまし。

又私が音楽學校に居りました時に使用したオルガンが宅にございました。長男はオールゴールにお守をさせて育てたせいか、音楽が好きになりました。オルガンをいたづらして居ります中に、やさしい唱歌が弾けるやうになりました。其の中に次男が生まれまして、長男に教はつて唱歌をひいてゐる中に、これはまた大變によく進歩致しまして、次男は全く音楽が大好きになりました。

然しこの時分に、私の主人の友人で銀行家でお子様が學習院に通學していらつしやる方がありまして、其の御宅では、お嬢さん方がピアノの御稽古

してゐらつしやるので、兄さん方がいつの間にか音楽が皆好きになりました。さうして此處に困つた事には、御長男がどう／＼音楽家として一生暮したいといふ事を主張されるので、其の御長男は學習院に於いても優等な御成績なので、お父さんはゆくゆくは大學を卒業させてお楽しみにして居られたところ、どうしても高等學校などには入學しないと云はれるのでした、御両親はどうしたものか、と私共のところに御相談に來られたのでした。

勿論主人も私も、何も音楽家はいけないものではない、それほど本人が希望するものなら仕方がない事でありますが、現在の日本の社會狀態としては、藝術家として生活費を得るのはひどく困難な事でありませうから、趣味としてなら、繪でも音楽でも非常に結構でありませう、と云ふやうなお話をしました。

この事がありましてから、主人と私とは、子供等が餘りオルガンに夢中になつてゐるのが、少し心配になりました。そして私どものやうな家庭狀態では、どうしても子供が自活して生活してゆける位の人間になつて貰はないと困ると思ひ、子供たちの音楽に對する注意をだん／＼に遠ざけるやうにし

て、オルガンも他にやつてしまつたのでござい
ます。その中に三番目に娘が生まれて、今年八つに
なり、上の兄たちと一緒に誠之小學校に通學し始め
ましたから、娘にはそろ／＼音樂の趣味を養つてや
らねばならぬ頃と思つて居ります。

私どもは、子供の身體に一層の注意を拂ふやうに
致して居ります。これも廣島に居りました頃のお話
でございします。私どもは一昨年東京にまゐりました
ので、それ迄十一年間廣島に居りましたから、廣島
には色々の思出があるので御座ります。其の頃、主
人の友達で、米國の大學で教育學を専攻して歸朝さ
れた、大層新しい思想を持つた方がありましたが、
其の方にもお子様が私どものと同年の方がございま
した。其の方のお宅では、何でもお子様が望むまゝ
にさせて置く、放任して置いて、小さい時から抵抗
力を養ふのだと云つて居られました通り、食物等に
ついて、お子様の食べたいものを上げて置きました。
た。そのせいか、廣島は疫痢の多い所でございします
から、疫痢には罹かるデフテリアには罹かる、奥様
はお身重な時にもかまはず病院に看護にゆかれる、
と云ふ大騒ぎをして居られました。

私どもでは、子供の食物等には注意をおこたらず
致します方で、主人は自分は十幾年間も病氣になら
ないのは、食物に注意したからで、飽食してはなら

ない、絶えず胃に餘裕を持たして置かねばならない、
と云つて、私にもさうするやうに勧めますので、私
もその通りに致して居りますが、主人も私も肥つて
丈夫でございします。子供達にも、この主義で、食物
を選んで與へて居ります。長男はもう十一歳にもな
つて居りますから、そろ／＼大人の食物に移つて行
つてもよいと思つて居ります。それですから、子供
の食物と云ふ事に就いては、始終研究致したいと存
じて居ります。幸ひ近頃では、専門家の方々が子供
の食物に就いて研究を新聞雜誌に發表し、著述して
下さいますので、私は耳をたてゝ其等に氣をつけて
居ります。

時代に遅れませぬやうにと、唯今寸暇をぬすんで
帝大の聴講生となつて居りますが、私が聴講して居
る教育等の時間に、西洋の子供の例でありますが、
七つで學校に行つてゐる子と、七つで未だ家庭にゐ
る子とは、身體の發育上に大差があつて、家庭にゐ
る子の方がずつと發育がよく、學校に通ふ子が發育
の劣つて居るのは、餘り學校で勉強を無理にさせる
からであらうと、云ふ事を先生が話されました。私
は一理のある事と思ひ、子供達にも無理勉強はさせ
ずに、たゞ將來の爲め學問に對する興味は深くさせ
るやうにして置きまして、中等高等學校を進むにつ
れて勉強を多くさせようと思つて居ります。唯今は
身體健全を第一に心がけて居ります。

此頃思ふことども

自由學園家庭部長 松岡久子

私どもには六つ、五つ、三つの三人の女の子がございますが、子供の教育に就いては、常々色々考へさせられる事が多くございます。

これは是非皆様におすゝめ致したいと思つて居るのでございますが、子供には小さい時から自分で物をさせる習慣をつけたいのでございます。

赤んぼがあるお宅では、夜寝かす時にお母様が抱いてねせますものでございますから、若し年子が生れたりしますと、御主人の方まで赤んぼを抱かされて、大騒ぎをしなければなりません。私どもでは、生れると直ぐから、別々の牀にねせる習慣をつけて置きますから、毎夜私が接寝をしなければ子供がねつかない等といふことなく、各々の牀にちやんと獨りでねます。これはお母さん方にとつてどんなにか、手のぬけた、有難い事でありませう。習慣のつけかた一つに依るのでございます。

又お玩具の仕末等に就きましても、一々自分で箱

に入れさせるやうにし、自分で責任を、すべての事にもたせて置きます。これはお母さんにとつて非常な手のぬける事であるばかりでなく、子供自身にもよい習慣を養ふ事になります。私が狭い家に住み、こんな小さい子があるにも拘はらず、晝間は自由學園の方へ教へに出て居られるのは、こんな事が少しでも餘裕を與へてくれるからだと思つて居ります。

次には、子供の時分から宗教的氣分に浸してゆきたいと思つて居ります。此頃の世の中が複雑きわまりなく、従つて青年期にある少女達が自殺したりする事を度々見聞して居りますので、私どもの小さい子達が年頃になる迄には、どんな風に社會が變つてゆくか知れない、と思ひますと宗教教育が一層必要のやうに感ぜられます。

それで日曜毎に、四五歳位の子供を近所から集めまして、小さい日曜學校を開いて居ります。むづかしい宗教の言葉等は一切ぬきに致しまして、やさし

いお話と讚美歌位にします。先生には、私自身ともう一人年をつた男子の方に御願ひしてありますが、洗禮などいふ事は少しもすゝめず、たい宗教に親ませるやうに致して居ります、それでも大人になつてからはいくらか心に殘る事と思つて居ります。

子供には、性に關しての差別なく教育したいと思つて居ります。「私は女の子ですもの、そんな事は爲ません」とか、「私は男の子だから、こうしてもよい」とか、そんな事は一切ぬきにしてあります。私どもの子供達にも、女の子だといふ事を教へてやつた事もありませんが、未だ子供たちは自分は他の人々が女の子だといふから、女の子だらう位に考へて居るかも知れません。先日最も長女が幼稚園にまゐりまして、あなたは女の子だか男の子だかわからない、と云はれたと申します。善い事はなんでも、男の子女の子の差別なくさせてゐるせいかも知れませんが、男の子とよく遊んでゐます。

社會では、男女共學といふ事が盛に唱へられて居りますが、私は大賛成でございます。私どもの子供が大きくなつた頃、大學でも男女共學が許可になりまして、直ぐ入學させる積りです。その準備として、

子供たちには性の差別を教へず、男の子でも女の子でも、同じに見る事を教へてゐます。

それから外面の事では子供達は、洋服を用ひさせたいと思ひます。服裝改良の聲が大分やかましいやうでございますが、實際日本服は今のまゝでは都合の悪い事が多いので、私ども、思ひきつて洋服を著ようかと思ひますが、色々世間にはかつて勇氣のないわけが實行が出来なくて居ります。もう私どもの子供の時代には、全部婦人も洋服にならうと思ひます。又さうなるには、子供の時から洋服にならして置く事が必要であります。

襦袢のとれません頃は、洋服は一寸不便な事もありますから、襦袢のとれる頃から洋服にした方がよろしうございますし、日本の家屋の構造では冬季に洋服は少し寒すぎると思ひますから、三四歳の小さい中は冬季の間は洋服はやめさせます。六七歳からは年中洋服に致します。洋服は經濟の點から云つてもお安い事は、お用ひになつた方は御存じでいらつしやいませう。

私どもの子供は年中洋服なので、外出した後に、よそのお子様の美しい友禪の著物や、赤くぬつた木履を見ますと、それは／＼欲しがるのでございます。洋服を着てゐるのに、下駄や著物はあまり買つても不經濟になるだけと思ひましたが、子供が欲しがるのを無理にとめるのも可愛いさうですし、又子供時代は一生に一度と思ひますと、なるべく楽しくさせてやりたいと思ひ、此頃友禪の著物と木履を買つてやりましたら、もう一通り家にあると思ふと、それで安心してゐるやうでございます。唯今私が氣づいて居る事はこんな位でございます。

子供と音樂

耕輔夫人 小松 廣子

子供は生れながらにして、美を愛する心を持つて居るものであります。然し美を愛する心を持つて居ても、其環境によつて或は表し得ずして、終るものもありませう。或は極端にまで之を延ばし得るものもありませう、例へば常に音樂を耳にし得る環境にある子供は、知らず／＼の間に、音樂に對する親しきをもつことになり、之を愛することによつて得る喜びをも受けることが出来ませう。之と反對に其周圍が全く音樂に遠ざかつて居る環境に育つ子供は音樂に對する愛好心を起す機會をもつ事が出来ないであります。

然も多くの家庭に於て美（こゝでは主として音樂をさす）に關する教育は、割合に遠ざけられて居るのではないでせうか、日本音樂にしても、西洋音樂にしても、之を家庭にとり入れて音樂に對する環境に、子供をおくといふ家庭はあまり多くを數へることは出来ないであります。

勿論音樂のみに限らず、詩歌、繪畫、など美育を行ふに適當なものもありますが、音樂は美の純然たる形であるのみならず、どんな幼い子供にでも、易易と受け入れさせる事が出来るのであります。

最初は樂隊蓄音機などによつて、快活なる曲を奏するを聞けば、子供は知らず／＼我を忘れてをどり出すであります。兄や姉の歌ふ歌は三歳の妹も之を模倣んどし、可憐の口びるを開いて歌はんとするであります。音樂は子供の世界に無くてならないものであります。

音樂、詩歌、繪畫等の了解、愛好心に對する可能は、私共自身の成長に伴ふものであつて、之を他の時に延期せらるべきものではありません。幼い間に美の教育を受けずして成長したる子供は、多くは之を愛好する時期なく人間として不幸なる生涯を終る事になるであります。

私は或人から次のやうな述懐を聞いた事がありま

す。

自分は幼い時から不幸にして、美に對する愛好心をもつ事が出来なかつた、殊に音樂に於て甚だしかつた、成長と共に趣味の損失は幸福の損失である事を痛切に感じたのである、自分は最早それによつて受け得る歡びを失つて居るとはいへ、少くとも之から成長せんとする子供に、同じ損失を與へないやうにしたいと思つて居る、と、そしてつとめて音樂に親しむ機會を得んことに心がけて居らるゝのであります。

或人は美育の價值について、音樂、詩歌、繪畫等はあまりに實際の役に立たないものである、このやうな事柄を強いて子供に教へる必要はあるまい、生存競争の烈しい今日に於て、衣食住に不自由をしない程度の人を作ればよいではないか、未來の生活に不必要なる音樂、繪畫、詩歌等を教へるひまを以て實際に必要な學問をさせなければならぬと。

衣食住に不自由なく生活して行ける人を作るといふ事も、勿論大切な事であります、然し之のみを以て満足する人が多くなれば如何なる結果を生ずるのでありませうか、世の中は漸次荒んで來て、唯強者

は榮へ、弱者は亡び、勝利者のみが幾分幸福なるが如くなれど、大多數の劣敗者は大なる不幸に陥らねばならぬ。

かゝる域から脱するにはどうしても、美の價值を認めてそれを樂しむ能力ある人を作らねばなりません。美の價值を認めて之を樂しむ能力ある人は、生存競争の烈しい中に於て、たとひ暫しの間にでも全く利慾の念を離れて、美の世界にあそぶ事が出来るのであります。

前にも述べたやうに、音樂、詩歌、繪畫などに於ける了解、愛好に對する可能は、私共自身の成長に伴ふものであつて見れば、此の幼兒時代はそれ相當美に對する了解と愛好心を養はなければならぬ大切な時期であります。

少し脱線するやうであります、外國語の學習について、十歳か十一歳の頃から始めなければならぬやうに聞いて居ります。趣味傾向は年齢に相當したもので無ければなりません、大人になつてから、ボーイ、ガールを主とした、子供らしいものを、それが英語を習ふ最初のものであるとはいへ、大人が趣味を感じるものではないのでありませう。

若し子供の時代に於て、生れながら以て音楽に對する愛好心が高められ、開發せられて行くならば、彼らはまだ／＼繼續して音楽を練習することを欲し、然する事によつて起る快感を見出し、意義ある一生を全うすることが出来るのでありませう。

幼き時代は再び來らず、家庭に於て美育を受け得る機會を持たない幼児は、幼稚園時代に於て、之が保育の任に當る人この手によりて、之を補ひ、又幸ひにして美に對する環境にある幼児は、其愛好心を益々高め、開發して行くやう導くことが、大切であります。

アメリカの子供は音楽的であるといふのも、その原因は幼き時代から音楽的環境に置かれて、常に音楽に親しみ、音楽を愛し、然も音楽を愛する事によつて受け得る歡びを持ち得るからであると思ひます。

彼等は常に愉快に、常に上品に、然も餘裕ある美の世界を形づくることが出来るのであります。

將來の國民は一方に烈しき生存競争と戦ひつゝ、他方に美の世界を持ち得るやうにありたいものであります。

會 告

本會では從來、會費の拂込を前金の方法でなく、御入會とともに、先づ雜誌をお送り申上で、半年毎に後から納めて頂いて居りました。しかるに會の發展にともなひ、會務の整理上いらく不便を感じますので、この際、全部前金納めの方法に改めたいと存じます。就きましては、甚だ恐入りますが、來る十二月に例の通り、市内は集金郵便により、地方はハガキを以て拂込をお願い申上ます節、特に今回は一ケ年分納めて頂きたいのでございます。さすれば、明年一月より六月迄、半年の前金を願ふことが出来ます譯です。尙、既に前金御拂込の方も多數ございますが、何卒、皆様におかせられては、この旨御諒察下され、此後益々本會のために御援助下さるやう御願ひ申上ます。

大正十年十一月

日本幼稚園協會會計係

自然的要素と児童教育

家庭學校長 留岡幸助

兒童を教育する上に於て、最も大切に思はれるものは、兒童の住む環境であります。私が現在致してゐる事業が、不良少年少女に接する事が多い經驗から、尙更兒童の環境が如何に大なる影響があるか、切に感ぜられるのでありませう。

この家庭學校が西巢鴨の一角に設立されましたのは、今より二十三年前でありまして、其當時は此邊は實に田舎でありまして、私が草わけをしたと云ふ程でありました。それに唯今はどうでありませう、西巢鴨は八千戸も有する町となり、一坪九十何錢かで私共が買った土地は一坪五拾圓となりました。この都會的になりつゝあることが、即ち自然より次第に遠ざかりつゝある事が、不良少年少女の住居としてはまことに不適當なのであります。早晚この家庭學校はもつと田舎に移轉しなければならぬと思つて居ります。

幸ひにも今より八年前に、北海道の社名淵^{サナナチ}に一千

五十町歩餘の土地を得まして、此處に家庭學校の分校を創立致して居ります。

社名淵は、一里程離れた所に六百戸程ある町があるほか、純然たる山野でありまして、谷が九つあり、大樹に覆はれた山々が高く聳えて居ります。

六番目の谷を惠之谷と名づけ、この入口から三十町歩程の奥に平和山と云ふ山があります。其の平和山の麓に百町歩程の牧場がありまして、この山から十町隔つた所に惠之岡があり、檜の木が繁茂してゐます。

又惠之谷の中には望之岡と云ふのもあつて、其の頂上にはクローバーを植えつけ、其處に禮拜堂を建築してあります。岡の麓には十軒ほどのカチーヂを建て、十二人を一家族として夫婦者の下に家庭的教育をさせるやうにし度いと思つて居ります。其の附近には、十二町歩ほどの畑がありまして、年中食物とするものは其處を耕して收穫するやうにして

あります。

兒童の教育上に於ては、普通の智育をするほかに、基督教を以て精神上的の教育をなし、農作する事を以て體育の助けとして居ります。北海道の社名淵の家庭學校の生活は未だ設備が充分でありませんが、兒童の住む環境としては理想的なものと思ひます。

さてこの意見から推してゆけば、都會に學校を建築するのは全然間違つた考へとなります。都會には、都會の兒童をわざ／＼田舎へ送つて教育する事の出來ない人々の爲に學校も相當に必要でありませうが、現在のやうに總ての教育機關を都會にばかり集中させるのは實に愚かな事であります。

私は都會に全然學校を設立しないと云ふわけには行きませんから、せめても都會の學校には、殊に幼稚園、小學校等の幼き兒童を學ばせる所には、自然の要素を出來得る限り含ませたいと思ひます。庭をひろくして樹木を多く植ゑ、養鶏の類や花壇の手入等を大いに奨励してやらなければなりません。

私の駄作ですが、「人よりは牛がよくする子供かな」といふ俳句をやりました。これは北海道の社名淵の家庭學校を訪問しにゆくたびに、心から感ずる實感

を一寸歌つて見たのであります。其處には牧場の中に多くの牛が飼つてあります。牛は御存じの通りごく柔和なゆるやかな女性的のものでありまして、牛の子が生れました時に親牛から離して牛乳を與へて飼ひ馴らすと、小さい子供にもよくなづくもので、子供は牛を飼ふのが好きなものであります。殊に家庭學校に居るやうな氣の荒立つ子供等は、馬のやうな男性的な動物に接しさせると、馬がひん／＼嘶くと、直ぐ「こん畜生め」と打つ、馬が地面をけると、また直ぐ「こん畜生め」と打ちます。かうすると其の度に子供の氣をあらださせるのです。所が牛に接してゐると、靜かにおとなしくなります。その様子を見て、「人よりは牛がよくする子供かな」と歌つて見たのです。

一體、子供は大人よりも自然に接し易いものであります。子供が砂があれば直ぐ砂いぢりする、草原に行けば坐つたりねころんだりする、水があればじやぶ／＼這入りたがるものであります。私の幼い時の事を思ひ出しますが、家の近所に川がありましてのでよくはいりに行きました。母親は危ないからとて非常に心配してゐるのに、かくれて川へ遊びに

行つたものでした。この事でも、いかに子供が自然に接したがるかわかるのであります。

北海道の家庭學校に於きましても、はじめ東京邊から連れてゆく時は、北海道と云ふと非常におそろしい所のやうに思つて、子供はいやがりますから、私共も注意して汽車にのせ、船にのせて送つてゆきます。所が不良少年とか不良少女とか云はれた其等の子供が、六ヶ月も其處にとゞまつてゐますと、すつかり精神も善良になり、身體も健康を増して來て、「悪い事をする」と東京にやつてしまふから、といふ程に、この社名淵の土地に愛著をもつのであります。之は何の爲めでありませうか、自然が人間をひきつけてゐるからで、全く自然の力は偉大なものであります。子供ばかりでなく、其處の先生方も東京に居るよりは遙かに幸福だと云つて、生を樂しんで居られます。

自然が人間に及ぼす影響は實に偉大なものであります。兒童を教育するには、教育の方法も大切でありませうし、學校の建物も大切でありませう、けれども自然の要素を教育にとり入れる事は、最も根本的で、最も効果の大なるものであります。

○全國保育者大會趣意書

兒童教育の完全は保育の完全に待つのであります。然るに我國現時の狀況を見るに保育事業は殆ど等閑に附せられて居るのみか寧ろ虐待を受けつゝある有様であります。

本會はこゝに見る所がありまして左記の要項により保育者大會を開き保育に對する世人の覺醒を促し其の改良進歩を期して居ます幼稚園主は勿論保母の方々の御入會を希望致します

日時 十一月二十五、二十六、二十七日の三日間

場所 帝國教育會講堂

一會費 金參圓

一講演見學等に關しては考慮中であります

一入會せんとするものは會費を添て來十一月十五日迄に住所職氏名を記し帝國教育會に申込み下さること

全國保育者大會問題

一、幼稚園教育會及其の施行規則を制定せられんことを建議すること

二、幼稚園の保母の養成の程度及其の資格待遇を高むることを當局に建議すること

三、幼稚園教育の普及を圖るに最も適當なる方法如何

四、幼稚園教育の改良を圖るに最も適當なる方法如何

以上 主催 帝國教育會

神田區一ツ橋通り町二十一

電 九 段 三 四 五

大正十年十一月

東京兒童保護協會

設立者 三 浦 謙 三 郎

東京兒童保護協會が、會長には江原素六氏を頂き、其他名士の方々の賛成を得て、深川富川町私宅(三浦醫院)に生れ出ましたのは、大正九年七月でありました。もう既に一ケ年餘も経過して居りますが、私共の希望ばかり多くて、資力に乏しく、未だ協會の建物さへ確定されてありませんのは、誠に不自由に感じて居りますが、この本所深川附近には、追々と了解を得て、日に／＼内容も豊富にされつゝあります。

私が、如何にしてこの事業を始めるやうになつたかを申しますれば、私は長い間この町に醫業をして居りましたので、勞働町とも云ふべきこの附近の子供達の病氣を見ましても、又子供について來る親達の健康状態を見ましても、先づ第一に兒童の健康、それから家庭の改良といふ事が、どんなに必要なのであるかを、つくづく感じました。

この附近の狭い家には、子供は遊び場もなく、自然と道路へ出て遊ぶ、その爲め電車自動車で怪我を

する子供が、毎日のやうに私のところへ連れて來れるといふ風で車掌に聞けばよくわかる事です、菊川町富川町邊は市内で一番事故が多いと云ひます。其故子供達の保護をする事がどんなに必要であるか、この一事でもお解りでありませう。

昨年會を組織する迄には、數年前から色々私共同志がよつて兒童研究をしたものでありまして、大戰後雨後の筈の如く諸所に起つた託兒所、内務省文部省の兒童保護宣傳、各種慈善團隊の此の方面への活動等よりも、遙かに私共の方が先だつて居つたのです。然しなか／＼一箇のまとまつた會には成らずに居つたのが、社會の兒童保護の空氣に觸れて、此の會がやうやく成立したのでありました。

この東京兒童保護協會は現在どんな事業をしてゐるか云ひますれば、兒童相談所、日曜會、母の會を常設事業として催して居りますし、臨時事業として兒童講話會、徒弟講話會、通俗講話會等でありま

す。

兒童相談所は私宅で毎週水、日の二日午後六時から九時まで行はれまして、私は主として衛生の方を、他に附近の小學校の先生をお願いして、學業、徳性の上の相談等をして居りますが、毎月十數名づゝ相談に来る人がありまして、三月の學年末には、子供を奉公に出したいがどんな所にやつたらよろしいか等といふ奉公口の相談で大變多忙になります。

日曜會といふのは毎日曜午後に富川町簡易食堂に於て催される子供の會でありまして、十歳以下の男女兒童百名づゝの來會者があります。之も教訓と娛樂とをかねるやうにして、小學校の先生方に來て、お話をして頂いて居ります。

母の會は毎週日曜の夜に催されるのでありまして、之も富川町簡易食堂を會場に用ひ、五十人内外の出席者があつて、勞働者のお主婦さん達です。母の勉めとか家庭衛生とかいふ類のお話を聞かせ、浪花節、琵琶等の餘興もそへて、面白くして居ります。

兒童講話會は、少年少女の爲め趣味本位の講話を大塚講話會の援助に依つて開催しましたので、第一回の時にも五百名内外の少年少女等が集つて盛會で

ありました。

徒弟講話會は商工業に従事する青少年の爲め其休日の夜間を利用して、趣味と實益に富む講話をするので、時々名士の方に講演を御願ひします。これも百名ばかり集りました。

通俗講話會は父兄の爲めに名士を招聘して、時事問題や思想問題等の講演をするのでありまして、これは中流位の方がお聞きになつても興味ある位の、割に程度の高いものであります。これは嘗て催した時には三百名も集つて實に盛大でした。

これ等の講演會は、主として本所深川方面に於て開催して居りましたが、順次に其の範圍を擴張して全市に亘つてしたいと思つて居ります。また私共の協會の研究部では、兒童讀物に關する調査、小公園設置に關する調査、貰子保護、無籍兒童に關する調査等の歩を進めて居ります。

私共の協會で目下最も希望してゐる事は、兒童會館建設でありまして、この協會に屬する建物がありますと、この邊で最も必要とする託兒所も、兒童運動も圖書館も、集合場も皆此の建築物の中に設立される事が出来ます。何とかして建物を欲しいと思つ

て居ります。

次には薄弱兒童轉地療養所、つまりこれは夏の間だけ體の弱い子を海岸なり山間なりに避暑に連れてゆくやうにしたいのでありまして、今年の夏から行ふ手筈でしたのが、準備が間に合ひませんでした。來年の夏からはきつと行ひます。

大正婦人會託兒所

近頃貧民階級の住して居ります町々に、託兒所が澤山出來ましたが、其の中でもこの芝區新網の託兒所は貧しい子供の託兒所として最も色彩の濃いものでございませう。

新網に足を入れたことのない方々は、想像も出來ないかも知れませんが、本所深川あたりの労働者町はこれほどもないやうに思はれます。此處に住んでゐる人々は、工場に通ふ人々は上等でありまして、乞食をしてゐたり、緣日に三味線を弾いて歩きまわる人や、どんづきに出かける女等の類であります。一戸をかまへてゐる人々は、ともかくも生活してゐま

巡回看護婦を雇ひまして、中産階級以下の各家庭を訪問し、疾病其他の事故者あれば、適當な注意と處置を與へ、主として乳兒幼兒の保健的教養に努力させるつもりです。

この外に兒童保護の宣傳をし併せて本會の事業を發表する機關雜誌を發行したいと思つて居ります。

主 任 佐 伯 富 士 子

すが、同居人といふものが、一番仕末におへないのであります、四疊半に三組の夫婦が居る、昨日まで二階にゐた夫婦者は今日は居なくなつて、他の者が這入つてゐる、といふやうに、實に變化極らないものであります。

このやうな家庭から來るのでありますから、託兒所に通ふ子供も、千差萬別であります。雨の降る日は親達が労働を休みますから、子供も家に引どめられて十四五名しか参りません。天氣の日は三十六七人通つて参ります。子供達は、實に亂暴で、お行儀が悪く、言葉つかひの下品なこと、中々教へ導くの

に骨が居れます。

私共の所では、純然たる託児所といふのではなくて、幼稚園をかねて居るのであります。新網小學校といふ特種小學校が、すぐ附近にありますので、其の小學校と連絡して、託児所といふ名ではあります。が、幼稚園の教育を授けることにしてございます。

亂暴で、仕附けの悪い家庭から、直ぐ小學校へと進めるのは、此の邊の子供にとつては餘りに、急な變化を子供の生活に與へ、其の他に小學校の先生方も餘計なお骨折をしなければならぬやうになります。子供たちの爲め先生方の爲にこの二つの理由から、私共の託児所では、幼稚園をかねた仕事も致して居るのでございます。

この託児所は一昨年生れましたのでございますが、その以前には、特種小學校へ通ふ子供達が、妹をつれ、弟をつれ、赤ん坊を負んぶして、教室へのぞみましたので、並大抵では學業を授けるのが困難な上に、そのお伴して來る子供達がざわ／＼して、とても學校らしい教授が出來なかつたさうで、小學校の先生方も大層お困りになつて居られました。ところがこの託児所が生れてから、小學校へ行く

子供が、朝、妹弟と一緒に連れ來て夕方は歸りがけによつて連れてかへる、といふ風で、大層よくなりました。

託児所の子供達は、手工をさせましたり、遊戲や唱歌を教へましたり、時々は面白い、子供の爲になるやうなお話をしてやります。氣が荒くて、少しの落附きもありませんから、初めの中は、一定の時間に手工をさせたり、皆そろつて唱歌をさせたりするのが中々うまくありませんでした。そして家庭に歸つてしまふと、此處で教へてやつた言葉つかひもからつと忘れてしまつたり、又母親達もこんな事を教へてくれるのかい、等と言ふものですから、子供もその氣になつて出席しなくて困りました。

然し此の頃は、大層よくなりました。それも、託児所が設立されてからまる二年も経ちましたからでございます。

私共は、家庭改良と云ふ事を、根本的事業である、つく／＼感じました。其の日の生活に困らず、相當の教養があつて正しく生きてゆく中流、上流の方々が、一ヶ月もこの邊の貧民の家庭に浸つてごらん下さい。彼等は、なんとした怠け者であるか、恥

をしらないか、又其の日の米代さへあれば明日のことは考へずに遊び歩いてゐるかが、よく御解りになりますでせう。

月に一回、夜の會といふものがありまして、いつも五十人位が集ります。蓄音機を聞かせ、茶菓を出して、御機嫌を取るやうにして、會へ出席することを奨励してやります。家庭の身の上相談のやうなものにも、絶えず訪問して相談相手となつてやり、子供の誕生と戸籍のことや、又お金に困つてゐる人々等、一々世話をして居ります。

私共の事業ももつと、資本をかけて充分やりたいと存じて居ります。この託児所が創立したてには、諸方から寄附がありましたので、子供達にも毎日おやつを與へることが出来ましたが、近頃は其やうな道も絶えてしまつて、子供等におやつをやることもしません。子供達は馴れて愉快に暮して居ります。

又唯今迄、私と一緒に保姆としてこの託児所に働いて居た方が、縁談の爲め歸國しましたので、私一人になりました。どうしても、私一人では多忙でしかたがありませんから、若い婦人の方で獻身的にこの事業に働くといふ方があれば、好都合と望んで居

ります。

相手ほしや、

義三さんは七つになりました。このごろの晴天つゞきの毎日を遊び相手としては、近所の進さん(六歳一人です。朝早くから日のかける迄、二人に何とかして遊んでゐます。幸、車馬の通らない家の前を二人は我がものにしてその道に塵を敷いてみたり、三輪車を走らせて見たりしますが、たつた二人で、それも毎日同じ遊び相手とて、直きに飽きて來ます。「母さんお菓子頂戴……」と遠くの方から言ひながら玄関にかけつけることが三十分毎におこります。ある時はお隣の臺所口をのぞいて「小母さん！あそびませう」と相手なもとめ、一寸お母さんの目をぬすんでは二階の窓からぬけ出て屋根に上つてゐます。「まだお晝ぢやないのか」と朝飯のすんで、やつと一時間とたゝぬ間にはやお晝飯をまちます。

* * * * *

幼稚園に通つてゐたらば、……と二人を見ることに私はさう思ひます(丁子)

福田會内の新設乳兒保育所

主任 神 田 薫 子

去る十月十日から、下澁谷福田會育兒院内に新たに乳兒保育所が設けられました。私共福田會の事業は今迄五歳以上から十三四歳までの子供の養育といふことになつて居りましたが、時勢にかへりみて其以下の年齢の乳兒も取扱ひたいと希望して居りましたところ、府社會課の方でも年に壹千圓補助を與へるから、平均五名位の乳兒を保育して欲しい、といふ事を申して來ましたので、私共の方でも大に喜んで始めたわけでござります。

此の福田會育兒院内には、御存じの通り、六つの寮即ち愛生寮、種徳寮、厚生寮、保生寮、種善寮、種福寮が御座りますが、この中種福寮を今度新たに乳兒保育所にあてまして、私と助手の方と二人で乳兒の世話をし、この會の醫師になつて居られる方に衛生上の御相談をし、時々診察に來て頂く事になつて居ります。

實は今迄、この福田會に乳兒が居りませんでした

理由は、神奈川内山村の農家に乳兒はあづけて三四歳まで其處で育て、貰つて、幼稚園の年齢になりましてから、此處へ連れて來て居つたのでござります。この農村には、唯今女兒十九名、男兒二十三名も里子になつて居りまして、横山醫師が里子監督といふ名で衛生上精神上の注意をして居られます。それですから、今度あづかつた乳兒も、この村によい里親が見つかつたら早速そちらへやり、見つかぬ間だけ私共がお世話して居るのでござります。

私は今まで教鞭をとつて居りまして、乳兒哺乳の事は今度始めてありますから、色々皆様に教へて頂く事が多いと存じて居ります。出来るだけ熱心に致す積りで居ります。

序でに、福田會保育所の近況もお知らせしたいと存じます。此處は佛教諸宗派が連合して設立した社會事業でございまして、貧困の爲めや、或は孤兒となつた子供を養育して、義務教育終了の後、父兄に

引きとらせたり、又は適當な職業を與へたりして居りますので、私生兒とか、或は無籍の子供とかは收容しない事にして居ります。

上に申し上げました六つの寮には、各保母がついて居りまして、十人位の子供が一家族のやうになつて極く家庭的に暮して居ります。寮の大きさは八疊二間、六疊一間、玄間二疊、それに自修室、臺所等一箇の家屋と同じに出來て居ります、この他に、湯殿等は別に大きいのがあります。明治十二年の創立でありますから、御料地を非常に廣く御下賜を頂いたもので、院内は廣く、建物や設備に於ては實に完備して居ります。兒童は總て六十人程居ります。

子供達は一日此處で何をしてゐますかと云ふに、朝起牀しますと、各寮から保母に連れられて講堂に集つて參ります。此處では佛式禮拜がありまして、誦經がすむと、感謝の歌、「あさゆう拜む みほどけの 慈悲の光に てらされて こゝろ樂しく そだち行く 我等の身こそ うれしけれ」を合唱します。それから幼稚園が院内に開かれますから、幼稚園の教室に集る子供もありますし、學齡に達してゐる子供は兄妹仲よく手を携へて、附近の臨川小學校へ通

學します、學校がひければ花の咲き匂ふ廣い庭で遊び戯れてゐます。

さて尋常六年の課程の終つた子供はどうなるかと云ひますと、男兒は商店等へ 女兒も良家へ、それぞれ奉公に出してやります。唯一つ此處に困つた事には、社會がこの福田會の事業をよく了解せずして、「あんな所から來た子供だもの、うんと追ひまわして使つてやれ」などと云つて、いつまでも小僧、女中で、一向將來を考へてくれず、男兒なら店を獨立させてくれるとか、女兒なら相當の所へ嫁にやつてくれるとか、其處まで世話してくれる人々が、世の中に餘りないので私共も子供の將來について大いに心をわづらはして居ります。

又養子養女に貰ひたいと此處へ申込んで來るものが、澤山ございます。わりに世間でよい位置に置れてない私共の所へ、さうした相談をもちかける人々には、二種類ございまして、相續者を親類間から貰つては色々面倒な事が多いから、子供のない因果から、見ず知らずの子供を貰つた方が何の關りもなくてよいと云つて貰つて行く人と、又手が不足で困るから子供をもらつてうんと働かしてやらう等といふ

人であるのでございます。前者の場合は大抵三つ四つ位以下のを貰ひたいと云つて申込みまして、かうして貰はれて行つた子供は、親にも大切にされ、大學にも入れられて社會有数の地位に立ますが、後者の場合には十歳以上のが欲しいと云つて來て、其は大きくなつたのは役に立つからでありまして、こんな場合には私共は大いに考てよく先方を調査します。

福田會で小學校までの教育をうけて外へ出ましたものは、年に二度敷入りといふ名で、此處へ集つて貰つてゐます。福田會で育つた方で、小さい時から天才のやうに繪が上手な子があつたさうですが、その人は遂に只今畫家として獨立してゐて、月何百圓といふ収入の人となり、行衛不明だつたお母さんを尋ね出し、立派な屋敷に住んで居られる人があります。この方等は福田會員中の立志傳の主人公ともなるべき方であります。

大正六年に、龜戸の方に福田會保育所を設けましたが、龜戸邊は勞働者が多くて非常に保育所の必要を感じますので、只今百人位の子が、朝にあづけられ、夕べは親達に手をひかれて歸るといふ風になつて居ります。この龜戸の託兒所も大層よくして居るやうです。

佛蘭西の幼稚園

幼稚園は獨逸が元祖であるにも拘らず甚だ振はない。幼兒を學校に通學させるのは、兒童の發育上宜しくないといふ處から一部の教育者から反對されて一時之を禁止した事さへある。幼稚園の最も盛な處は、何と言つても佛蘭西と米國である。佛蘭西では幼稚園を一種の小學校と見做して居る。幼稚園に二つの種類がある。一つは母親學校と稱し滿二歳から六歳迄の兒童を預かり之を教育的に指導する。又一つは幼稚科と稱し小學校に附屬せしめ滿四歳から七歳迄の兒童を收容して之を教育する。

母親學校は多く都會にあつて、母親に代つて小兒を預かり之を哺育するといふのであつて、一種の託兒所であるが、併し文部省では多少の教育を施すべき規程を作つて之を示して居る。又幼稚科は地方に多く散在し、工業地に於ける勞働者や何かの爲に小兒を預つて之を教育的に育て、やる事を目的として居る。此處では母親學校と異なり國語、算術、圖畫、體操等小學教育の初歩を教へるやうになつて居る。初歩と言つても遊びながら教へるのであるが、併し他の國の幼稚園のやうに全然教へないのではない、矢張一種の初歩的小學教育を授くる事になつて居るから、小學校の一部と言つても毫も差支はない。其處では等の幼稚園が凡そ何れ程あるかといふと、戰前の統計であるが一九一一年に於て公立二千五百九十六、園兒數三十七萬二千三百三人、私立一千二百三十六、園兒八萬八百三人あつた。斯の如く幼稚園を以て小學校の一部と見做して居るので、各市町村で之を獎勵して設けさせて居る。人口二千以上あるべきところで、公費をもつて幼稚園を立つる時は其の地方では其住民に對して入園の義務を負はせる事を許して居る位であつて、佛蘭西の幼稚園はもと貧兒預所から分離して起つたものであつて、單に教育を目的とするのみでなく、一方に於ては勞働者の爲に其の足手纏ひを預てやるといふ社會政策をも大に加味して居る。故に其授業時間の如きも一日に三時間とか四時間とかいふのでなく、勞働者が朝出て往つて夕方歸るまで全日預つて教育をするのである、此の點は全世界に比類のない此の國の幼稚園の特色である。

兒童の睡眠時間

東大心理學實驗室 文學士 淡路圓治郎

兒童の睡眠に關して、ツエルニイの研究を擧げて見よう。ツエルニイは電氣刺激を用ひ、初生兒及び小兒總計九十名に就いて實驗したのである。

先づ生後一週間の乳兒に於ては、一回の睡眠時間は約三時間で、最初の一時間に急速に深度を増し、一時間目には最深度に達し、その後は徐々に淺くなり、三時間目には覺醒する。この覺醒は、全く哺乳の要求から來るものであつて、哺乳後は十分乃至十五分を経れば再び睡眠に入り、再び前と同じ経過を取る。このやうにして、生後二三ヶ月間は終日終夜眠り續け、其の睡眠時間は一日平均二十時間以上に及んでゐる。

生後九ヶ月の乳兒二人に就いて實驗したるに、一人にあつてはその睡眠深度は、途中短時間で目を醒ましたために、睡眠は二分に分れ、各の睡眠はいづれも一時間目に最深度にのぼつてゐるが、初めの睡眠の深度よりも、第二の睡眠の最深度は遙かに低い。

他の一人にあつては、就眠後一時間目に最深度に達し、その後に徐々に淺くなり、就眠後六時間目には甚だ淺く、殆んど覺醒に近づかうとしてゐるが、再び急に深さを加へ、七時間目には第二の深所を形作り、その後は徐々に深度を減じ、覺醒に及ぶ。而して此の場合亦第二の深所は依然第一の深所に及ばない。

この睡眠状態を見ると、生後一ヶ月前後の乳兒に比し、睡眠時間が長くなつてゐるのは、哺乳の要求が漸次減じつゝある事を證するもので、嬰兒が年を経ると共に、哺乳の要求より來る刺激からまぬかれ、睡眠を中斷される事は殆んどなくなる。

二歳乃至六歳の兒童六名につき實驗した所によると、就眠後一時間目に最深度に達し、その後一時間は急劇に、以後は徐々に淺くなりつゝ六時間目に至り、その後再び深度を増して、第十時間目には第二次の深度に及び、十二時間前後に覺醒する。此の場

合も依然第二次深度は第一の其れに比し低いのである。

これ等の實驗の結果に依りて見れば、兒童に於て睡眠の最も深いのは、午後十一時、即ち就眠後二時間目で、覺醒に近づくにつれて淺くなるものである。

私自身、大正七年九月から十一月に至る三箇月にわたつて、東京市、神戸市、長野縣、山梨縣の兒童につき、睡眠狀態を調査したことがあるから、一寸お話ししようと思ふ。

受驗者は滿五歲以上十五歲迄の男女兒童三五〇人で、その中二〇五四人は男兒、一四八六は女兒である。是等兒童は、實驗の便宜上皆學生である。

各年齡につき男女兒童を比較すると、概して云へば男兒は女兒よりも多く眠つてゐる。即五歲から十五歲に至る男兒平均睡眠時間は九・四時間であるのに、女兒は九・三時間で平均〇・一時間だけ少いのである。

これはいかなる原因に依るかといふと、同じ活動に對して女兒は男兒よりも疲勞することが多いのであるが晝間の活動は男兒の方が多く従つて男兒の方が女兒よりも疲勞することが却て多くなつて、即ち

女兒の方が疲勞する事が少くなり、また、女兒の方が心身發達が男兒よりも早く、また、家事の手傳等をしなければならぬ上から早起を止むなくせらるるといふ、この二つの理由で女兒の方が男兒より睡眠時間の少いのである。

睡眠標準時間と、この實際の兒童の睡眠時間とを比較すると、男兒は平均一・二時間不足し、女兒は一・三時間不足し、男女平均不足は一・二三時間に及んでゐる。睡眠標準時間に比し、兒童の實際の睡眠時間がかくの如く不足をつげてゐるのは或は標準時間の方が少し長すぎてゐるのかも知れない。

年齡別から述べれば、年齡の増加と其の睡眠時間が著しく減少して來る。例へば、五歲と十五歳の十年の差異は二・九時間で、殊に之を男兒について見る時は、實に三・〇時間の減少である。年齡について睡眠時間相互の差即ち睡眠時間の減少を見ると、多少の動搖はあつても、各年齡相互の差違は殆んど相類似してゐて、〇・一乃至〇・四時間宛を減じて以て十五歲に及んでゐる。

小學校入學の年齡即ち七歳の時に當つて、女兒は急に〇・七時間を減少し、八歲に於ては〇・三時間の

減少を見るのは、確かに學校生活が兒童の日常生活に影響を及ぼし、睡眠状態をも支配するに至る證據である。

職業の有無と睡眠とは如何なる關係があるかと云ふに、學生とそれ以外のものについては充分な比較は不可能である、何となれば六歳以前のものは凡て學校に通學せざるもので、七歳以後は大部分は學生で、たゞ僅に女兒に十一歳以後少數の有職者を見、男兒に於ては十五歳に始めて少數の有職者をもつたに過ぎない。女兒に於ては十一歳から十五歳に至る學生が平均八・五時間限り、有職者は八・一時間、差は實に〇・四時間である。男兒に於ても、有職者は學生よりも睡眠時間短く、十五歳學生が八・〇時間なるに對し、有職者は七・八時間で、差は〇・二時間となつてゐる。

本邦兒童の睡眠時間に就いて一般に考察すれば、兒童の睡眠は大人に於けるよりも著しく長く、兒童の睡眠は年齢増加につれ、心身發達に伴つて漸次減少し、年齢増加に伴ふ睡眠減少は大人の其よりも大である。又男兒は女兒よりも多く眠り、有職兒童は小學兒童に比して睡眠少く、大體七八歳になると兒

童の睡眠時間は學校生活の影響をうけて減じ、男女各年齢を通じてその睡眠時間は所謂標準睡眠時間より著しく不足し、平均一乃至二の差があり、從來の標準睡眠時間はやゝ長きやうに思はれるのである。

次に都市兒童と地方兒童との睡眠時間を述べて見る。私は五歳から十五歳迄の都市兒童二一八九（東京及神戸）、地方兒童九九〇人（長野、山梨縣）に就いて調査したのである。

都市兒童一般に就いて考ふれば、五歳から十五歳迄の兒童平均は男女とも九・二時間の睡眠時間を有してゐる。學齡兒童たると然らざるを問はず睡眠時間が男兒に多いのは、都會では女兒の睡眠時間が増加してゐるためでなくて、むしろ男兒の睡眠が種種の社會的關係上減損を蒙る事が女兒よりも大なるに基くのであらう。

年齢別から見た都市男女兒一般について考ふところによると、睡眠時間は年少者が大で、年齢の増加と共に著しく減少し、五歳と十五歳の間には男兒では二・三時間、女兒では二・五時間、平均二・四時間の減少を見る。即ち平均一年〇・三時間の割合で減少し、以て十五歳に及んでゐる。但し六歳から七八歳

になつて、〇・三時間の増加を見てゐるのは、一寸不思議のやうに感ぜられるが、これは學校生活が始まる頃とて、夜比較的早く就牀させるやうに父兄が注意するからであらう。

明らかに學校生活の影響とも認むべきは、七乃至八歳間に於て、男女とも著しく減少し、男児は〇・九時間、女児は一・三時間を減じ、平均一・一時間の減損を見る。その後の減損はかくの如く甚しくなく、たゞ一三乃至一四歳間の相違がやゝ大きくなるのは、或者はこの時期に中學校に入り、他のものは義務教育を終へ漸く家事にたづさはる事が増加して來た證據ともなるものである。

標準睡眠時間と各睡眠時間との差を求めれば、都會兒童は男女とも各年齢を通じて著しく不足し、然もその不足は前項の全般男女児のそれよりも大である。即ち男児に於ては各歳平均一・三八時間、女児は一・三五時間にて平均一・三七時間の不足で、大體年少者にその不足が著しい、

學生と其他との比較については材料が貧弱であるが、有職者は依然睡眠時間が少いやうである。

地方兒童の睡眠に就いて云へば、地方兒童の睡眠

は都市兒童の其よりも多くなつてゐる。男女児の何れも年齢増加と共に睡眠時間は減じてゐる。而して男児の睡眠は平均九・四時間で、男児に於て大である。随つて標準時間よりの不足に就いて之を比較するに、男児の平均一・〇八時間に比し、女児の平均不足は一・一五時間に及んでゐる。

年齢別で云へば、男女全般について考へるも、年齢増加につれて睡眠時間の減少を見る、而して五歳兒童と十五歳との間には、實に二・九時間の相違を認める。七歳及八歳に減少の著しいのは、學校生活の影響である、十四歳に於いて睡眠時間の急劇に減じ、漸く義務教育を終へ、家業又は家事を助くる事が増加したり、或は中等學校に入り、生活に多大の影響を蒙つた爲である。標準睡眠時間との差、即ち睡眠不足量を檢すれば、男女児平均一・一二時間に達し、睡眠不足は年少者に著しい。有識者と學生との睡眠時間の差は十五歳男児に於ては、〇・一時間、十四歳女児に於ては〇・一時間、十五歳女児にありて〇・四時間にて、有識者は一般に學生に比し、睡眠時間はやゝ少いのである。

是等の事實から察して見れば、都市兒童は平均九・

二一時間眠り、地方兒童は九・四九時間にて、平均〇・二五時間即ち十五分だけ多く眠つてゐる。各年齢につき比較するも、都市兒童は大體地方兒童に比し睡眠時間が小である。但し七歳に於て、地方兒童に反つて少いのは如何なる理由かは、學校生活の及ぼす影響は地方に於て大なる爲め、地方兒童の睡眠が害されるのであらう。

男兒は七歳の時は、都會兒童は九・二時間、地方兒童は九・五時間、平均〇・三時間の差があり、女兒に於ても地方兒童の方が多く、平均〇・二時間多く眠つてゐる。

最後に結論として述べて置きたい事は、本邦都市兒童の睡眠時間は、地方兒童のそれよりもやゝ少く、五歳乃至十五歳の兒童の各年齢平均時間は、都會兒童は九・二時間、地方兒童は九・四九時間で、即ち〇・二五時間の差ある。都市男兒の睡眠時間(九・二時間)は地方男兒のそれ(九・四時間)に較ぶれば〇・二時間不足となり、地方兒童の睡眠は都市兒童のそれよりも一層標準睡眠時間に近づいてゐるが、それでも尙不足が甚だしい。年齢別職業の有無に關しては兒童の睡眠時間に一般に認められる事實は都鄙の別

がなく、大體之を認められるのである。

私がこのやうな兒童の睡眠の研究をしたのは、いかなる程度迄に睡眠をとつたならば、過不及なく兒童の疲勞を恢復する事が出来るかを調べたからである。私の研究は誠に不完全であるが、地方兒童の睡眠時間の方が都會兒童の睡眠時間よりも適當と思はれる故、都會の兒童はもう少し睡眠時間をのばした方がよいと思ふ。

寄稿歡迎!!!

一、保育についての實驗の御經驗、御研究、また日頃の御感想など、何なりと御寄稿下さい。また全國に多數の讀者を有する本誌はなるべく、その内容を廣くいたしたいと存じて居りますから、各地における幼児教育に關する會合、催しなどについても御報下されば誠に幸と存じます

懸賞募集 全國保育者大會

懸賞募集

◎全國保育者大會に

御出席の節は是非

御立寄り被下度御

待ち申上候

(會場より約一丁)

神保町
停留場

フレール館

九段下
停留場

會場

●課題 有爲の注意力ヲ纏ムル玩具

必要アル時ニ兒童ガ一事一物ニ注意ヲ纏メ得ル様ニ習慣ヲ付
ケル玩具

在來ノ玩具中ヨリ選定シテモヨシ新案ナレバ尙ヨロシ
實物或ハ模型ノ送付ヲ要ス

●切 大正十一年一月十五日限リ

●發表 同年三月ノ本誌上

●賞金 一等拾圓 二等五圓 三等參圓

●謝禮 本社ニ於テ製作販賣ノ値アリト認メタルモノニハ賞金
ノ外販賣利益ノ見込ニ應ジテ謝禮ヲ呈ス

株式會社フレール館

東京神田九段下下車

明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可（毎月一回十五日發行）
幼兒教育 第二十一卷 第十一號
大正十年十一月十五日發行

印刷所

合資會社

杏

林

舎